

早野中学校の概要

1 沿革

昭和 54 年 8 月 10 日	通学区域審議委員会から、南中学校分離新設校の通学区域が答申される。
昭和 56 年 10 月 15 日	茂原市立南中学校分離新設校校名選定委員会において、新設校の校名を広く住民等より公募した中から、地名、理想像、方位等を考慮に入れて審議され、校名の候補が答申される。
昭和 56 年 11 月 25 日	選定委員会の答申を基に、教育委員会会議において校名を早野中学校と決定する。
昭和 57 年 4 月 1 日	南中学校から分離して早野中学校が設立される。五郷小学校区と鶴枝小学校区及び茂原小学校区の一部を学区とする。
昭和 62 年 4 月 1 日	学区変更により、鶴枝地区が南中学校区となる。
平成 5 年 2 月 22 日	柔剣道場（真武館）が落成する。
平成 8 年 4 月 1 日	学区変更により、茂原小学校区が南中学校区となる。

2 学校概要（学校ウェブページから抜粋）

早野中学校は、茂原市中心街の西南部に位置し、綱島・八幡原・石神・中善寺・早野の5つの郷（さと）から成っている。旧来から純朴な農村地域の中に、六田台、早野、緑町等の新興住宅団地が造成されてきた学区である。

保護者は、かつて全国各地より転居してきた者が多かったが、近年は、大規模な住宅地造成もなく落ちついてきた印象を受ける。

生徒数については、昭和 62 年の学区変更により鶴枝地区が除かれたための大幅減があった。現在は、ほとんどの生徒が五郷小学校卒業生であり、一小一中の関係が強い学区である。



3 校章

開校して間もなく、生徒から校章のデザインを募集した。応募作品の中から、当時美術を担当していた亦野征二先生がデザインをまとめた。



茂原市の木「つつじ」を単純化し、南中学校から分離したということで、南中学校の「おおとり」の羽根をつつじの葉に託してデザインした。そして、早野中学校の「早」をつつじの葉に重ねて、校章ができあがった。

4 校歌

作詞 山本 清 作曲 飯田秀一

- 1 房総の峯を西にみて
うち開けたるこの大地
そびえ立ちたる殿堂に
いざ励まん学びの道

- 2 高く輝く白雲は
われらの理想にたとうべく
清く豊かなる心もて
いざ進まん友よ友

- 3 常磐の森の緑うつす
ま広き庭に若人立つ
ちから鍛える時は今
いざ雄叫びをわれら健児

校歌のできるまで

校歌制定にあたり、まず作詞をしてくれる人を探すのに苦労した。学区の山田登志子先生（元茂原中教諭）の紹介で、御主人の同級生の山本清先生を知ることができた。

山本先生は、学区石神の出身で旧制長生中学校の卒業生でもあることから、来校してもらい、学校の屋上から学区を眺めていただき「簡潔な詞」「合唱部分を取り入れる」の2点を希望事項として、作詞をお願いした。

作曲者は、山本先生とコンビで多くの校歌の作曲を手がけている飯田秀一先生に依頼した。飯田先生は、東京学芸大学音楽教授として永年活躍された方である。